令和８年度　大分県農林水産部主催

農福連携

参加費無料

技術支援者育成研修

農業者や福祉サービス事業所が取り組む農福連携を支援する専門人材の育成を農林水産省カリキュラムに基づいて行います。

すべての研修課程を修了した研修修了者は、「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」として農福連携の現場における支援を行うことができます。

参加資格	農福連携に関わっている方、またはこれから関わろうとする方（農業関係者、福祉関係者、行政職員、団体職員等）
定員	20名程度 ※希望者多数の場合は調整させていただく場合がありますのでご了承ください。
日程/場所	オンライン研修及び現地での実地研修 （詳細は裏面をご覧ください）
参加費	無料

お申込み方法等

締切　2026年11月27日（金）

２次元コードをスマートフォンで読み取るか、下記URLから申し込みフォームに必要事項を入力してお申し込みください。

https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys/5929910541099024980

スマートフォンで読み取り！

主催・お問い合わせ

大分県農林水産部　新規就業・経営体支援課　経営体育成班（担当：永瀬）

097-506-3598　a15270@pref.oita.lg.jp

研修概要

基礎的・実務的な知識を、第１講座のe-Learning教材を用いた座学（オンライン）講義にて学び、第２講座では現場で必要となる実務的な技法を現地研修で学ぶ二部構成で開催します。

ガイダンス・開講式

2026年12月1日(火) 14:00～15:30　場所 オンライン開催

ファシリテーター：株式会社ふくしごと

第１講座　動画視聴による座学研修（各自視聴）

動画配信期間

2026年12月1日(火)～2027年1月13日(水)

- はじめに：農福連携をめぐる情勢
- ① 農福連携概論（1コマ）
- ② 社会福祉や障がい者雇用・障がい福祉サービス事業等に関すること（4コマ）
- ③ 農業者農業経営等に関すること（6コマ）
- 確認テスト

第２講座　実地による研修（集合研修）

2027年2月2日(火)～2027年2月5日(金)

修了試験を受けるためには**全講座の受講が必要**です

①障がい特性に対応した農作業支援技法

▶ 2027年2月2日（火）10:00～17:00

講師 黒木ファーム　黒木緑子 取締役　　場所 黒木ファーム、吉野公民館（大分市内）

②農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当の技法

▶ 2027年2月3日（水）9:00～17:00、2月4日（木）9:00～12:00

講師 株式会社ふくしごと　　場所 大分県立農業大学校（豊後大野市三重町）

③農福連携技術支援者の役割と実践事例

▶ 2027年2月4日（木）13:00～17:00

内容 動画研修・グループワーク等　　場所 大分県立農業大学校（豊後大野市三重町）

④障がい福祉サービス事業の運営の実務

※本講座終了後、意見交換会13:30～14:50及び修了試験15:30～17:00を開催します。

▶ 2027年2月5日（金）9:00～12:30

講師 障がい者就労支援センター ひまわり畑　羽矢一弘 施設長　　場所 障がい者就労支援センターひまわり畑（大分市大字辻）

過去受講生の感想（他県で受講された方の声の抜粋）

大分県では初めての開催です！

（農業者）福祉事業所の見学をすることで、農業と福祉の連携のイメージをすることができた。
（福祉事業者）個人の特性に合った作業内容や道具の工夫をするといった環境づくりの大切さに改めて気がついた。
（行政関係者）直接、現場の人の声を聞けて良かった。また、作業難易度の分析を修正しながら作成することが重要だと感じた。
（その他関係者）農業側、福祉側、行政関係者など、すべての人と知り合うことができたのが良かった。
座学だけではなく、作業体験やグループワークがあり、理解しやすい内容だった。